

## 令和7年度 北斗市立大野小学校 学校評価（後期）

12月に実施しました大野小学校後期学校評価の結果をお知らせします。また、結果を基に学校としての次年度に向けた見解をお伝えいたします。

回答A「そう思う」B「どちらかといえばそう思う」C「どちらかといえばそう思わない」D「そう思わない」の4段階のうち、A・Bの肯定的な回答の割合を表記し、結果をお知らせします。なお、前期に引き続き、「C・Dを選んだ場合に必ず理由を入力する形式」から「A～Dのどれを選んでも、理由を記入でき、必須としない形式」に変更しています。

	調査項目		児童	保護者	教職員
1	学校は、子どもたちにとって楽しく安心して生活できる場所になっている。	前期	86.1%	100%	100%
		後期	84.4%	97.2%	100%
2	学校の先生は話しやすい。	前期	91.3%		
		後期	90.2%		
3	学校は、命を守る行動について学ぶ機会を設けている。	前期	設問なし		
		後期	94.9%	96.5%	100%
4	学校は、子どもたちが自ら考え、学ぶ授業を行っている。	前期	91.2%	100%	100%
		後期	94.9%	95.2%	100%
5	学校は、適切な指導を行っている。	前期	92.5%	98.6%	100%
		後期	94.1%	96.5%	100%
6	学校は、学校での子どもの様子を丁寧に伝えている。	前期		95.6%	89.7%
		後期		89.0%	100%
7	学校は、お子さんがPTA行事や地域行事に参加するよう積極的にうながしている。	前期	72.7%	95.7%	100%
		後期	78.1%	93.2%	100%
8	学校は、子どもたちに豊かな教育活動を行っている。(将来の夢をもったり、かなえたりすることに役立っているか)	前期	87.7%	98.6%	96.6%
		後期	95.4%	96.6%	100%
9	学校は、子どもたちに運動することの楽しさや大切さを伝えている。	前期	92.1%	100%	100%
		後期	90.2%	93.9%	100%

### 学校評価を受けての見解

【1・2の見解】児童・保護者の皆様からいただいた回答を前期と比較しますと、全体として数値がやや低下する結果となりました。教職員の受け止めとどのような差があるのかを深く検討し、子どもたちが「毎日が楽しい」「安心して過ごせる」と実感できる学校環境の整備に努めます。

【3の見解】今年度後期より導入した新項目において、児童・保護者・教職員のいずれからも高い評価をいただきました。今後も、交通事故、災害、不審者対応、熊の出没対策など、児童の命を守るための安全教育に継続して取り組んでいきます。

【4・5の見解】児童のアンケート結果において、評価の向上が見られました。日々の授業改善に加え、「大野フェス」と題し、児童が主体的に学ぶ授業を公開し、他校の教職員との事後交流を実施したことも成果につながったと考えられます。今後も研修を重ねて教員の専門性を高め、新しい時代を生きる子どもたちに必要な資質を育めるよう、指導の充実に一層努めていきます。

【6の見解】前期と比較すると、教職員と保護者として認識の違いが見られました。この認識の違いは、肖像権に対する考え方の多様化のほか、社会情勢の変化も影響を与えていると考えます。今後は保護者の皆様のご懸念に寄り添い、丁寧な説明と配慮を徹底した上で、学年・学級通信やホームページの充実に取り組んでいきます。

【7の見解】PTA行事や地域行事への参加につきましては、申し込み手続きや送迎・同伴など、保護者の皆様のご協力を得ながら円滑に進めることができました。厚くお礼申し上げます。今後も学校として、保護者の皆様が無理のない範囲で参加をご検討いただけるよう、柔軟に働きかけていきます。

【8の見解】児童の評価において向上が見られました。これは、「豊かな教育活動」を目指し、発達段階に応じた働きかけを行った成果です。学びのねらいを丁寧に共有し、子どもたちが自らの成長を実感できるような授業づくりに工夫を重ねてきました。

【9の見解】「体プロ（体力向上コーナー）」をはじめ、日々の授業でも工夫を凝らしてまいりましたが、数値としては昨年度よりやや低下する結果となりました。今後は今回の結果を分析し、子どもたちが生活習慣や運動習慣を楽しく身につけられるよう、指導内容を見直し、さらに充実させていきます。

今後も大野小学校の教育活動にご協力をよろしくお願い致します。

令和8年3月24日

保護者各位

北斗市立大野小学校

校長 滝本 千晶

## 学校のきまりについて（再確認）

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、後期の学校評価アンケートで、保護者の方より「頭髪は染めてもよい一方で、キーホルダーは付けてはいけないなど、学校の基準が分かりにくい」というご意見をいただきました。本校の考えについて、改めてご説明いたします。

まず、キーホルダーやピアス等の装身具についてですが、これらは学校生活において必要なものではありません。不要物を持ち込むことにより、学習への集中が妨げられたり、紛失や破損、思わぬけがなどのトラブルにつながったりする可能性があります。このため、本校では児童が安心・安全に学校生活を送ることを第一に考え、原則として持ち込みを控えるよう指導しています。

一方、染髪については、本校として推奨しているものではありません。消費者庁においても、健康上の観点から児童への染髪は推奨されていないとされています。実際に、本校の多くの児童は、中学校の体験入学等を前に黒髪に戻しており、「小学生のうちにはよいが、中学生になると望ましくない」という意識を自然に持っている様子も見られます。また、登下校時の児童の様子をご覧になった地域の方々から、「髪を染めた児童が増えているが、落ち着いた学校生活が送れているのか」といった心配の声が複数寄せられていることも事実です。

その一方で、生まれつきの髪の色や毛質に悩みを抱える児童がいること、また、家庭の教育方針や価値観が多様化している現状も踏まえると、画一的な指導を強く行うことが難しい事情があります。こうした背景から、染髪については、児童一人一人の状況や思いに配慮しながら対応しているところです。

本校といたしましては、今後も「学習に集中できる環境づくり」と「児童の心身の健康・安全」を大切にしながら、保護者の皆様や地域の方々のご理解を得つつ、指導の在り方について検討を重ねてまいります。

何かご不明な点等がございましたら、遠慮なく学校までご相談ください。

今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。